

赤磐商工会 合併 20 周年事業
(パネルディスカッション)

入場無料

9/8 (日)

経済の循環を生み出す

13:30~15:30

赤坂健康管理センター
定員:100名(先着順)

『あかいわの

未来に向けての提言』

テーマ

「産業振興」と「まちづくり」

内容

交流人口を増やし地区内で資金を循環、スタートアップ企業の育成、吉井地区と赤坂地区の振興、未来に向けてのビジョンは？
また、商圏が同じである瀬戸地区の方も必聴です。是非ご参加ください。

パネリスト



氏名	友實 武則 氏
経歴	昭和 55 年 岡山大学卒業 平成 25 年～ 赤磐市長(現在 3 期目)



氏名	片岡 聡一 氏
経歴	昭和 59 年 青山学院大学卒業 平成 19 年～ 総社市長(現在 5 期目)

進行役



春風亭 昇吉 氏

平成 19 年
東京大学卒業
総長大賞受賞
令和 4 年～
赤磐市「あかいわ広報大使」

■お申し込み方法は次の 3 つからお願いします。

- ①右の 2 次元コードから申込む
- ②裏面の申込み用紙から FAX で申込む
- ③電話(086)955-0144 で申込む

※定員(先着順)になり次第締め切ります。



■会 場

赤磐市赤坂健康管理センター(赤坂公民館の隣)
(赤磐市町苅田 514)

■お問合せ先 赤磐商工会 Tel(086)955-0144

■主 催 赤磐商工会

■後 援 赤磐市、山陽新聞社、RSK 山陽放送、
OHK 岡山放送、TSC テレビせとうち、
岡山県商工会連合会



赤磐商工会の合併経緯

平成 16 年 5 月 23 日に、第 1 回赤磐商工会通常総代会が開催され、市町村合併に先駆けて、赤磐郡(瀬戸町、山陽町、赤坂町、熊山町、吉井町)の旧町にあった 5 つの商工会が合併して赤磐商工会が誕生しました。

その後、行政は平成 17 年 3 月 7 日に、赤坂町・熊山町・山陽町・吉井町の 4 町が行政合併し赤磐市が発足、その後、平成 19 年 1 月 22 日に、赤磐郡瀬戸町は岡山市に編入されました。

なお、現在、赤磐商工会エリアの人口は、令和 6 年 1 月現在、57,856 人です。

《赤磐商工会の概要》

所在地(本部)	赤磐市下市 357-7
会長	中原 哲哉
商工業者数	1,423 事業所
小規模事業者数	1,243 事業所
法定会員数	909 事業所
組織率	63.9%

商工会のまちづくり

全国の商工会地域は、既に人口減少によって、今後地域の疲弊は相当のスピードで進むことが予想されています。

そこで、商工会は『資金・パートナー・資源』を組み合わせ『事業承継や新たなビジネスの創出』を推進し地域経済を活性化させることによって、自立し持続可能な地域経済を目指しています。



そこで、従来の地域振興策を見直し、新たに「エリア外から資金を呼び込む」、「地域内で資金を循環させる」、つまり、一過性ではなくビジネスの手法を用いて持続的に地域を活性化させるための取り組みが重要だと考えています。

FAX:086-955-0376 (24 時間受付)

『あかいわの未来に向けての提言』 申込書

★9/8 開催赤磐商工会 合併 20 周年事業(パネルディスカッション)に参加します。

参加者氏名	
連絡用電話番号	
お住まいの地区 (地区に○印をしてください。)	山陽 ・ 赤坂 ・ 熊山 ・ 吉井 ・ 瀬戸 その他()
パネリストに対する 意見・質問	(例えば、①産業基盤の整備、②新産業の育成・誘致、③過疎地域対策と商工業振興、④今後の赤磐市など)